

第3回阪南地区薬薬連携研修会アンケート結果集計

日時：平成24年6月9日（土）15:00～17:15

場所：阪南市役所 別棟 第3・4会議室

参加者：計43名（薬剤師会34名・阪南市民病院 薬剤部7名・その他2名）

【特別講演】「症状聴取から処方箋発行に至る診断過程を学ぶ～総合診療科編～」

阪南市民病院 総合診療科 医長 山口 敬

A よくわかった	17名
B だいたいわかった	4名
C ふつう	1名
D あまりよくわからなかった	
E わからなかった	

感想

- ・ 症例と処方内容を教えて頂き、とても勉強になりました。一番印象に残ったのは、うっ血性心不全の治療でした。喘息の治療薬を使うことで、心臓に負担がかかってしまうこともあり、病気を治す治療薬でも逆に悪化させてしまう恐れがあることがわかりました。
 - ・ 頭痛・腹痛・痺れ・呼吸困難について全て症例をもとにお話しして頂き、とても分かりやすかったです。どのようなことを患者さんから聞き、どのような検査から薬を選択するのか良くわかりました。ぜひ他の病気についてももっと色々な症例を説明して頂ける機会があればうれしいです。
 - ・ 同じ症状でも、痛みが起こる作用機序が異なる疾患であれば、異なる治療薬を選択する必要があることを具体的な症例を挙げて説明して頂き、大変分かりやすかったです。
 - ・ 入院時にどのような処置・判断がされているのかが分かり良かったと思います。
 - ・ 代表的な症状について、症例を提示しながら詳しく説明して頂き、とても勉強になりました。
 - ・ 頭痛で一過性高血圧という事例がありましたが、もし店頭に来られた場合、私にはそういう発想がなかったので非常に勉強になりました。もし、軽度な症状であっても受診をすすめた方がよい病気があれば教えて頂きたいです。
 - ・ 処方を選択する際に考えておられることが良くわかりました。
 - ・ ウイルス性腸炎の患者さんにビオフェルミン3g分3を処方するとありましたが、この患者さんは食事を摂取することが出来たのでしょうか？実際に投与される場合、耐酸性酪酸菌のミヤBMの方が良いかと思いましたが、先生の考えをお願いします。
- 今後は、耐酸性酪酸菌のミヤBMを使用するとのこと。（阪南市民病院採用済み）
- ・ 処方箋を受け取るので、病気について興味を持ちますが患者さんによってはクローズであったり、自分でもあまり良く分かっていなかったりする人が多く、医師が処方された意図がわかり勉強になりました。
 - ・ 色々な症例に関してもっと教えて頂きたいと思います。

- ・一般的な症状について、どのように治療方針が決定されているのか、良く分かりました。ありがとうございました。
- ・直接医師から説明していただける数少ない機会なので今後もやっていただきたいと思います。
- ・処方に至るまでの考え方が分かり、よかった。もっと他の症例も紹介してほしいです。
- ・患者さんの症状の訴えの中からどのような症状に注目して考えていくのかが少しですが、理解できました。また、色々教えて頂きたいと思います。
- ・同じ症状なのに違う薬が出されていたことを私は理解できなかったのですが、山口先生の講義を聞き、とても良く分かりました。

【実習発表会】摂南大学・大阪大谷大学実習生

感想・質問

- ・具体的な例などが含まれていて、とても分かりやすかったです。
- ・同じ大学で勉強したので、実際に実習して、大学と何が違うのか発表してもらって良く分かりました。
- ・FOLFEX 4と6の違いは分かりましたが、2日間かけて行う方がよいのでしょうか？
(どちらも2日間にわたって治療を行います。5FUを持続点滴します。入院の場合は輸液ポンプ、外来の場合はインヒューザーポンプを使用して投与します。患者さんの生活スタイルや状態などによってどちらを使用するかは医師の判断になります。)
- ・病院で働く人で思い浮かぶのは、医師・薬剤師・看護師ぐらいだったので、色々な職種の人がいることを具体的に知れて良かったです。
- ・病院実習というものがどのようなものか良く分かりました。
- ・学校で習った内容以外のことも病院実習で学べることが分かりました。
- ・病院と薬局の実習内容の違いが良く分かりました。二人ともはきはきとし、初々しく良かったです。
- ・前向きな姿勢でこれからもがんばってほしいです。
- ・とても丁寧に準備されたのだなあと感じました。
- ・この4週間で成長していることが良く分かりました。立派な発表でした。
- ・よくまとまって聞きやすかったです。
- ・向上心があってよいと思いました。
- ・二人ともフレッシュさが出ていました。これから向き合うのは「病気の方」＝「患者さま」なので基本的に弱っています。いやしてあげられるよう、笑顔を忘れず、元気よく！！
- ・今の気持ちを忘れず、がんばってください。
- ・知識・経験も必要ですが、最終的には患者さんの気持ちや体調を理解出来るのが一番大切だと思います。がんばってください。
- ・これからもがんばってください。そして、立派な薬剤師になって下さい。
- ・がんばって残りの実習を受けて下さい。
- ・私が病院実習に行った時は2週間しか実習にいなかったのですが、11週間も体験でき、大変だと思いますが、楽しんで下さい。
- ・はっきりとした話し方にひきつけられました。よくわかりました。ありがとうございます。
- ・はきはきと発表していて良かったです。
- ・どういう実習しているか実際は良く知らなかったのですが、とても良かったです。残りも頑張ってください。

今後企画して欲しい内容

- ・今回の特別講演のような、医師がどのようなことから薬剤を選択しているのか、症例をもとに説明してもらえる勉強会を開いて頂きたいです。
- ・今回のような、処方意図が分かるようなお話をもっとききたい。
- ・抗がん剤のプロトコールや抗がん剤治療に関して
- ・緩和ケア
- ・救急現場での看護
- ・今後も今回のような医師による処方の意図の説明をして頂けるとありがたいです。

開催日について

木曜日 1名

土曜日 15名

アンケートの記載ありがとうございました。

日程に関しては今まで同様の回答が多く、土曜日の15時からの希望が多いので、引き続き同じ時間で継続します。7/28の泉南薬剤師会の講演会にて、保健薬局実習生と病院実習生の合同の発表会が開催されますので、御参加頂ければと思います。

今後も阪南地区薬業連携推進協議会にて皆様の御意見を次回の研修会開催への参考にさせていただきます。

次回の研修会は2012年10月頃を予定しています。8~9月頃に案内させていただきます。

引き続き御参加よろしくお願い致します。

阪南地区薬業連携推進協議会委員